

関係機関長 様

高知県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について
病虫害発生予察注意報第2号を送付します。

平成23年度病虫害発生予察注意報第2号

平成23年6月28日

高知県病虫害防除所

病虫害名 イネいもち病(葉いもち、穂いもち)

1. 対象作物 水稻(早期稲・普通期稲)
2. 発生地域 県内全域
3. 発生時期 6月下旬以降
4. 発生状況と注意報の根拠
 - 1) 早期稲栽培地帯の6月21日～24日の巡回調査結果では、中央部、中西部、西部で平年に比べやや多～多発生で、広範囲で発生が見られる(表1)。
 - 2) 高知県版プラスタム(アメダスデータを用いた葉いもち感染予測システム)の判定結果では、本年は5月11日～13日にかけて、県内各地で葉いもちの感染好適日が平年より早くから発生。さらに、本年の梅雨入りが5月26日で、平年よりも10日、昨年よりも18日早く、近年では最も発生が懸念される条件が整っていた。その後感染好適日が散発している(表2)。
 - 3) 窒素の過剰施肥等により葉色が濃い場合、本病への発病を助長していると考えられ、巡回調査でもその傾向が見られた。また各地で進行型病斑も認められた。
 - 4) 四国地方の1か月予報によると、向こう1か月の降水量は平年並み～やや少なく、日照時間は平年並み～やや多い予想であるが、曇りや雨の日には感染好適日が多く発生することが懸念される。今後の天候によっては、早期稲、普通期稲ともに、葉いもちが多発するおそれがあり、その発生動向に注意を要する。
5. 防除対策
 - 1) 早期稲では幼穂形成期から穂孕み期をむかえており、出穂期にかけて穂いもちの発生に注意する。
 - 2) 穂いもち病の防除適期は、出穂10日後およびその5～7日後で、薬剤の使用時期(収穫前日数)に注意して薬剤を選定する。
 - 3) 普通期稲では、進行型病斑にならないように適正な管理に努める。箱施用剤等で予防を行っている場合は、薬剤の効力がなくなる時期以降の発生に十分気をつける。
 - 4) 薬剤防除にあたっては、農薬の使用基準の遵守および周辺作物への薬剤の飛散に十分に気をつける。
 - 5) 防除薬剤は、県の病虫害防除指針に従う。

表1 早期稲の葉いもち発生状況

	本年発生面積 (ha)	平年発生面積 (ha)	作付面積 (ha)	調査日	備考
東 部	2.2	7.2	794	6月17～22日	
中央部	410.0	216.2	4,024	6月17～24日	進行型病斑が見られる
中西部	88.1	45.9	927	6月17～23日	進行型病斑が見られる
西 部	355.0	252.3	1,945	6月23日	進行型病斑が見られる
県合計	853.1	521.6	7,690	6月17～24日	

表2 高知県版プラスタムによるいもち病の感染好適条件の判定結果(5/11～5/13,6/17～6/25)

	本 川	本 山	大 栃	高 知	後 免	日 章	安 芸	檮 原	須 崎	窪 川	室 戸 岬	江 川 崎	佐 賀	宿 毛	中 村	清 水
5/11	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	1	-	-	-
5/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/13	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

6/17	-	-	-	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/18	-	-	4	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
6/19	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
6/20	-	-	-	4	4	-	-	4	4	-	-	-	-	-	-	-

6/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
6/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/24	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

< プラスタムの判定表示説明 >

感染好適条件():

葉面湿潤条件が充分で、湿潤時間中の平均気温が15～25、前5日間の平均気温が20～25で、これらの条件がすべて満たされるとき、葉いもちの大量感染に好適な気象条件が出現したものと判断して「感染好適日」とし、印で表示しています。

準感染好適条件(1～4):

葉面湿潤時間は充分であるが、その他の条件が一部不足している場合を「準感染好適日」としていません。その際、判定の条件の違いを数字で示しています。1は前5日間の平均気温が19未満の場合、2は前5日間の平均気温が25を超える場合、3は湿潤時間中の平均気温が15未満または25を超える場合、4は湿潤継続時間が不足している場合に当たります。これらの準感染好適日が続いても発病が始まるので注意が必要です。

詳細および上記の期間以外の判定結果につきましては、病害虫防除所のホームページに掲載していますのでご参照下さい((www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/byoki/boujoshou).

